

しみずの教育 ちよつといい話

【令和2年2月号】

清水小学校

校長 高井 正樹

今年はスケートを楽しみました



スケートリンク造成協議会の皆さんの連夜の散水作業により、少雪・強風等の悪条件の中、今年には校庭に立派なスケートリンクが完成しました。冬休み中にリンクがオープンすると、連日多くの子どもたちが滑りに来ていて、3学期が始まると、各学年のスケート学習が始まりました。厳しい寒さや強風の中、また、雪が降る中でも、子どもたちは元気いっぱいスケートを楽しんでいました。

学習の終わりにはスケート記録会を開き、今年のスケートシーズンを締めくくりました。去年は学校でできなかったスケート授業が今年はたくさんできて、スケート技術や体力の向上を図ることができました。何より楽しそうに滑る子どもたちの姿をたくさん見ることができました。これも、リンク造成や維持作業に当たってくださった皆さんのおかげです。心から感謝いたします。



御影小学校

校長 清水 弘

御影ワンチームとして ~3学期スタート~

3学期が始まって1週間ほど経ちました。この冬休みは事故等の連絡がなく、みんな元気に3学期をスタートすることができました。冬休みの作品展では、創意工夫を凝らした力作の作品や自由研究等が並び、子どもたちの頑張りに目を見張るものがありました。

心配されたスケートリンクにつきましては、リンク造成会の方々がトラック12台分の雪を運び入れたり、平らにするためにホースを使った手撒きでの散水もしたりして、冬休み中

に完成させてくださいました。日夜を徹しての造成に頭が下がります。本当にありがとうございました。また、維持散水のために、ご協力いただいている保護者の皆様にも感謝申し上げます。スケートの授業でも、最後まで大切に使用したいと思います。

この冬休みにおいても、少年団での子どもたちの頑張りに輝かしいものがありました。特に清水御影アイスホッケー少年団が、1月11日～13日に札幌で行われた全道小学生選手権大会で5年ぶりの優勝を果たし、全道一となりました。私も試合の応援をさせていただきましたが、御影小の子どもたちも大いに活躍している姿に嬉しく思いました。

さて、この3学期は43日間という短い学期ですが、1年間の締めくくりの学期です。新学習指導要領の全面実施に向けての2年間の移行期間が間もなく終わります。次年度に向けて学習すべき内容にしっかりと取り組んでまいります。また、御影小の冬は三つの「あ」の定着の時です。「挨拶」「ありがとう」「後片付け」にも気を配ってまいります。一つ上の学年に進むべく、子どもたちの更なる成長のため、学校が家庭・地域と共に御影ワンチームとして前進してまいりたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



【冬休み作品展】

大郷小学校から～お礼の色紙が届きました



【大郷小からのお礼のメッセージ】

昨年の台風で被害に遭われた宮城県大郷町にある大郷小学校に、本校の6年生全員で一人一人励ましのメッセージを色紙に書いて送っていました。すると、この度、大郷小学校6年生からお礼のメッセージの色紙が送られてきました。「メッセージがとてもうれしかったです。」「心配してくれてありがとう。」「とても勇気づけられました。」「もとの大郷になるよう頑張ります。」などと書かれていました。また、大郷小学校は学習発表会を延期して行ったこと、まだ仮設住宅暮らしの住民がいることが分かりました。一日も早い復旧を祈ります。

清水中学校

校長 尾崎 俊明

良き伝統として

「きれいな学校にすることで心身ともにきれいな生徒が育つ」ことを願いながら、本校の経営の重点の一つでもある「豊かな環境」を目指し、美化活動の一環として、この3学期「ピカ中コンテスト」を行っています。自分たちが生活する教室環境等をきれいに保つことは、



日常を互いに気持ちよく過ごすためにとっても大切なことです。そうした気持ちを醸成すべく「清掃状況」を保健美化委員会が中心になり互いに評価しています。対象は、教室をはじめ、誰もが必ず利用するトイレや手洗い場、体育館、階段、廊下です。

第1回目は、2B・3B教室、2階中央トイレが金賞でした。机やイスが整然とされ、黒

板もきれいに、ゴミ箱周りやロッカー内のホコリにも目を配りキレイにされていました。きれいな清水中学校を一層きれいに保つことも本校の「良き伝統」として受け継いでいけるよう今後も指導していきたいと思えます。そして、学校にいらした保護者や地域の方々にもこうした様子も是非、見ていただければ幸いです。



御影中学校

校長 塚原 雄二

働くことから学ぶ ～キャリア学習・十勝清水学の推進～

1月21日（火）、23日（木）の2日間で、本校第1学年の生徒たちは町内にあるホクレン清水製糖工場、プリマハム北海道工場へ見学に行きました。

これはキャリア学習の一環として、「自分の将来を考え、自己実現に向けての手順を知ると同時に、今何をすべきかを考える」ことを目的として行われました。事前に「働く意義」や「職業人となるまでの道のり」を学び、見学の際に聞いてみたいことをまとめるなどの学習を行いました。当日は、実際に働いている方々から聞いた話の内容や質問の答えなど、一生懸命メモをとる姿から真剣さがうかがえました。



生徒の感想より(ホクレン精糖工場見学)

- ☆工場の中はとても暑かったけど、楽しかったです。てんさい糖が清水町だけで作っていたことが、とても驚きました。清水町の砂糖が日本中で使われたらいいなと思いました。
- ☆1つのものができるまでに、色々な方々が関わって、やっとできあがるのだとわかりました。環境が厳しいところでも頑張っている方々に感謝しようと思いました。
- ☆工場の中に入った瞬間、思っていたより暑くてびっくりしました。工場でどのように作られているか知れてよかったです。清水製糖工場の歩みなどのことも知れてよかったです。

生徒の感想より(プリマハム北海道工場見学)

☆1つの商品ができるまでに、様々な工程があり、沢山の人が携わっていることが分かりました。普段見られない現場を見させてもらい、商品を作るのは大変だと思いました。自分が食べる時は感謝して食べたいと思います。

☆感想は機械がたくさんあって、足元もすべりやすい場所で働いていてすごいと思いました。そして衛生面にも厳しいんだなと思いました。学んだことは、何日間も乾燥させて作っていることや、案内をしてくれた人が働くときに心掛けていることが分かりました。

☆工場見学をして、衛生面にとっても厳しくて、細かく手洗いや消毒等をしていたので、プリマハムさんの商品は安心して食べることができるなと思いました。また、X線検査などで異物が入っていないかも細かくチェックされていたのでとても丁寧だなと思いました。



この学習は、地域を学び、地域の産業を知ることを通して、故郷清水町への愛着と誇りを持ち、子どもたちが生涯を通して故郷とつながるよう「十勝清水学」の一環としても今後の学習につなげていきます。

清水高等学校

校長 平野道雄

アイスホッケー部インターハイ3位！

1月22日～26日全国高校総合体育大会スケート競技・アイスホッケー競技が帯広市と清水町で開催され、本校アイスホッケー部は20年連続インターハイ出場、3年連続3位という輝かしい戦績を残しました。

一方、本校は1回戦の清水町アイスアリーナ会場の運営をはじめ、2回戦の全校応援、準々決勝・準決勝での有志応援を行うなど、たくさんの生徒並びに教職員が大会に関わりました。中でも、会場に響き渡る校歌やエールなど、一体感のある爽やかな応援にお褒めの言葉をたくさんいただきました。また、生徒たちは最後まで懸命に闘う高校生の姿を肌で感じ、多くのことを学ぶことができました。

清水町の阿部町長や三澤教育長、素晴らしい応援幕を作成してくれた大内田さんをはじめ応援に駆けつけてくれた地域の皆さま、全校応援の際に町有バスを運行していただいた関係者の皆さま、部活動を支援いただいているPTAや同窓会など、関係するすべての方々に、紙面を借りて心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



【2回戦 vs 関大一高】

清水高校の授業の魅力！その3「二つの課題研究」

本校の面白く、ためになる授業シリーズの第3弾です。本校では校訓の一つに「探究」を掲げ、育成する資質・能力でも課題発見力や課題解決力などをあげています。移行期間中の新学習指導要領においても、すべての高等学校で探究活動が一層重視されていきますが、総合

学科である本校では、従来から取り組んできたものです。

今回は、先日行われた二つの課題研究の成果発表を紹介します。

一つは、全3年次生が学ぶ「総合的な学習の時間」の課題研究です。それぞれの生徒が興味や関心、進路などに即したテーマを個人あるいはグループで調査・研究し、まとめます。1月21日には、選ばれた7組が3年次生と来年度取り組む2年次生を前に、体育館で各10分間発表しました。スライドによるわかりやすい説明のほか、体操や調理の実演などの工夫もありました。

<発表テーマ>

「Exercise is diet」、「第六次産業の可能性」、「コース料理について」、「ファイターズ本拠地移転による課題」、「CMについて」、「パンの世界」、「医療関係者だけがいない町」

もう一つは、理科の科目「課題研究」です。活動のねらいなどは上と似ていますが、実験など理科的要素がぐっと高まります。1月23日、選択者8名が6つの研究内容の発表を行いました。

<研究内容>

「短時間で作る味噌の作り方」、「アロマオイルの抽出」、「香りの合成」、「身近な場所の微生物調査」、「本当に美味しいポテトチップ」、「香り成分を配合した石けんの作成方法」

いずれも、調査研究の経過の中で、自ら課題意識を持ち、進め方を考えながら前向きに取り組んでいく主体性が培われます。こうした姿勢は人間としての在り方生き方につながると考えます。ご参観いただいた町教育委員会関係の皆さんにも感謝いたします。

昼休みにパンを試行販売

1月20日(月)から31日(金)まで昼休みのパン販売を試行的に行いました。これは、保護者や生徒会執行部の要望を受け、事情により昼食を十分準備できなかった生徒や、放課後遅くまで活動する生徒などの補食の確保が目的です。清水高校振興会の紹介により、本校卒業生でもある御影の「じゅん&まき」さんが来てくれました。生徒会執行部もお手伝いし、多くの生徒が利用しました。今後は、この試行販売の状況などを踏まえ、PTA役員など関係者と相談しながら、学校として方向性を考えていきます。



【行列ができるパン販売】

清水幼稚園

教頭 池 守 由美子

木のおもちゃいただきました！！



1月21日(火)清水高等学校 生産技術系列の3年生と先生方が来園され、たくさんの木のおもちゃを持参してくれました。生徒の力作揃いの木のおもちゃに園児たちの目がきらきらし始め、どれで遊ぼうかと目が釘付けになりました。お兄さんたちに遊び方を教えてもらいながら、いろいろなおもちゃやゲームに挑戦して大喜びでした。

その後、オセロゲームで一緒に楽しみました。最後に、一年間お世話になった高校生と先生に、全員でお礼を言いました。お兄さんたちは、春からは、いろいろな道の一年生。園児は小学一年生です。お互いに頑張ってくださいとエールを送り、16年目の交流を締めくくりました。



年長児交流・・・今年も体作りに挑戦



2月7日(金)に年長時交流が行われました。第2保育所は都合で参加できずちょっと残念でしたが、今年も講師に、スタジオゼロの細野先生とアシスタントの先生2名も一緒に来ていただきました。

音楽に合わせて体ほぐし運動から始まりましたが、子どもたち全員が先生の一挙手一投足にくぎ付けとなり、一生懸命に取り組みました。中々ハードな内容でしたが子どもたちは全力で挑戦し、音楽や先生の言葉に合わせてスイスイこなしていくので、大人の方がビックリです!!

幼稚園に帰ってくると、楽しかったと口々にお話をしてくれました。お家でも挑戦してみたいはかがでしょう。



教育委員会

しみず「教育の四季」推進協議会

第3回コミュニティ・スクール委員会の開催(お知らせ)

今年度は地域総がかりで子どもたちを育む体制をつくるため、これまで取り組んできた“しみず「教育の四季」”をさらに推進するかたちで、4月にコミュニティ・スクールがスタートしました。5月には、清水と御影の2ブロックに分かれて委員会が開催され、各学校等の経営方針説明、全体承認を行いました。10月下旬には第2回委員会を各ブロックで開催し、経営の途中経過、各学校で行われた評価アンケート(生徒、保護者、教員)の報告を中心に開催。最終となる第3回委員会は、2月20日(木)清水CS委員会、21日(金)御影CS委員会を開催する予定です。今年度の学校経営、しみず「教育の四季」推進協議会の推進状況などについてお話しいただきたいと考えています。(教育指導幹 福原 幸江)



家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」

から感性あふれ、表情豊かな子を育てる

冬～厳しさに生きる人の中で 共に磨く

家庭・学校・地域今月の取組

家庭は、みんな揃って
楽しい団らん

地域は、向こう三軒
みんな家族